

霊長類における長寿 科学研究と動物福祉環境

第16回 サル類疾病 国際ワークショップ

2007年12月7日【金】

〔開催時間〕9:30～17:00

〔場 所〕つくば国際会議場（茨城県つくば市竹園2-20-3）

参加費無料

Program

9:30～9:50 **開会挨拶** >>> 長 文昭（元国立感染症研究所）

9:50～11:30 **〔特別企画〕高齢サル、長期観察サルの病理と臨床**
>>> 座長 山海 直（医薬基盤研究所 霊長類医科学研究センター）

Part 1 高齢サル、長期観察サルの病理

Part 2 高齢サルの行動学、生理学及び臨床ケア

国内最高齢育成力ニクイザルの症例報告等、国内外の研究機関、動物園等で維持されてきた高齢サル、長期研究サルの症例のショートプレゼンテーション。ディスカッションはポスターセッションで行います。

11:30～13:00 **ランチョンセミナー（ポスターセッション）**

例年活発な議論が交わされるランチョンセミナーをさらに充実させる試みとして午前中のセッションを受けてのポスターセッションを実施します。発表者も聴衆も、専門分野からあるいは専門外からの意見交換、議論により霊長類を用いた研究を見つめなおす機会にしたいと思います。

13:00～14:00 **〔特別講演〕**
>>> 座長 山内一也（東京大学名誉教授）

霊長類の化学物質による長期発癌実験
>>> 高山昭三（昭和大学医学部客員教授）

14:00～16:30 **霊長類における長寿科学研究と動物福祉環境**
>>> 座長 八神健一（筑波大学生命科学動物資源センター長）

高齢サルを用いたアルツハイマー病遺伝子治療研究と将来展望
>>> 田平 武（国立長寿医療センター研究所長）

動物実験に関する国際的な管理体制とこれからの実験実施体制について
ー長期飼育霊長類に対する福祉的配慮をふまえてー

>>> 重茂浩美（文部科学省 科学技術政策研究所 科学技術動向研究センター上席研究官）

サル類を用いた老人病モデルには限界があるか？
>>> 吉川泰弘（東京大学大学院 農学生命科学研究科教授）

16:30～17:00 **総合討論** >>> 八神健一（筑波大学生命科学動物資源センター長）
吉川泰弘（東京大学大学院 農学生命科学研究科教授）

■参加申し込み方法

参加申し込みはE-mail (tprc2007@primate.or.jp) またはFAX (029-837-0218) あてに、所属、氏名（フリガナ）、連絡先を明記のほか、ポスター発表参加希望、懇親会参加希望についてもお知らせください。ランチョンセミナーにおいては、軽食を準備いたします。なお申し込み締め切りを2007年11月30日（金）とします。詳細については予防衛生協会ホームページ (<http://www.primate.or.jp/>) またはサル類の疾病と病理のための研究会 (<http://www.spdp.net/>) をご覧ください。

■一般演題の受付

ランチョンセミナー（ポスターセッション）でご発表いただく演題を募集します。なお、長寿科学研究以外の分野の一般演題も受け付けます。詳細は上記アドレスにお問い合わせください。

〔主催〕サル類の疾病と病理のための研究会／
岐阜大学野生動物感染症センター／（社）予防衛生協会

〔後援〕（独）医薬基盤研霊長類医科学研究センター（予定）／日本野生動物医学会

企画担当：小野文子（予防衛生協会）
山海 直（医薬基盤研究所）